



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 山九株式会社 上場取引所 東・福
コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公大
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 都賀 守常 (TEL) 03-3536-3939
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	421,917	△3.4	27,024	△9.2	28,180	△12.6	18,528	△7.9
2023年3月期第3四半期	436,554	6.1	29,757	13.2	32,239	20.9	20,117	18.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 27,123百万円(△7.7%) 2023年3月期第3四半期 29,391百万円(55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	323.44	—
2023年3月期第3四半期	343.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	507,712	276,745	53.8
2023年3月期	481,661	272,532	55.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 273,345百万円 2023年3月期 269,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2024年3月期	—	84.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	84.00	168.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	552,500	△4.6	33,500	△12.2	34,500	△12.9	23,000	△7.8	404.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	61,757,978株	2023年3月期	61,757,978株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,924,334株	2023年3月期	3,262,953株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	57,283,645株	2023年3月期3Q	58,496,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

「山九のユニーク」マーク



1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ後のリバウンド需要の一巡、製造業・デジタル関連財の貿易停滞等不透明な状況が続きました。米国では、雇用情勢が良好につき個人消費は底堅く推移していますが、資金調達環境の悪化から住宅市場・設備投資の低迷、製造業の調整局面が長期化しております。中国では、ゼロコロナ政策解除後、サービス消費の回復が続くも、輸出入の減速の動き、不動産不況、デフレマインド等により景気回復ペースは緩やかとなっております。東南アジアでは、インバウンド需要の回復、サービス業の雇用者回復により内需シェアが高い国々で経済成長が続いておりますが、輸出依存度が高い国々では苦しい局面が続いております。国内経済では、新型コロナウイルスの5類感染症移行後、経済活動の正常化が進み、インバウンド需要や消費活動が回復し、価格転嫁の動きがみられます。一方、製造業における生産活動は、世界的な需要の低迷を受けて輸出が伸び悩んでおります。

このような経済情勢の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,219億17百万円と前年同四半期比3.4%の減収、利益面においては営業利益が270億24百万円と9.2%の減益、前年同四半期に比べ東南アジアでの倉庫火災に伴う保険金受取の剥落により経常利益が281億80百万円と12.6%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益が185億28百万円と7.9%の減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾国際では、国内の海上コンテナ取扱いの減少や、これに伴うヤード内作業・保管作業が減少しました。また、国内外での海上・航空運賃の下落および輸出入取扱いの低調な推移に加え、プロジェクト輸送案件の減少がありました。3PL一般では、3PL作業の新規取扱等の増加はありましたが、一般物流では、中国域内での自動車部品・消費財の輸送作業等が低調に推移し、更に国内では化成品・消費財の取扱いが減少しました。構内では、中東では一部追加コストの計上がありましたが、昨年度の装置不具合対応コストが剥落し、加えて国内客先の単価改定の進展や、南米・中東での構内作業の増加で堅調に推移しました。

以上の結果、物流事業全体の売上高は2,142億90百万円と前年同四半期比6.2%の減収、セグメント利益（営業利益）は71億58百万円と前年同四半期比14.5%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は50.8%であります。

② 機工事業

設備工事では、昨年度完工した東南アジアでの石油化学製造設備の建設・化学関連設備増強工事等の剥落がありました。メンテナンスでは、東南アジアでの工事量は増加しましたが、国内SDM（大型定期修理工事）の工事量がマイナー年のために減少しました。

以上の結果、機工事業全体の売上高は1,875億14百万円と前年同四半期比1.1%の減収、セグメント利益（営業利益）は181億64百万円と前年同四半期比8.7%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は44.4%であります。

③ その他

鉄鋼・化学関連工事への機材・資材貸出しの増加や、道路・付帯設備補修工事の増加に加え、システム開発案件の受注・機器販売が増加しました。

以上の結果、その他全体の売上高は201億12百万円と前年同四半期比9.5%の増収、セグメント利益（営業利益）は15億50百万円と前年同四半期比17.0%の増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.8%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,699億81百万円であり、前連結会計年度末に比べ193億52百万円、7.7%増加しました。主な要因は、工事の進捗に伴う契約資産の増加等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、2,377億31百万円であり、前連結会計年度末に比べ66億98百万円、2.9%増加しました。主な要因は、時価の上昇に伴う投資有価証券の増加等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,248億12百万円であり、前連結会計年度末に比べ79億50百万円、6.8%増加しました。主な要因は、季節資金等の支払を目的としたコマーシャル・ペーパーの発行と支払手形及び買掛金、未払法人税、賞与引当金の減少との差等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、1,061億54百万円であり、前連結会計年度末に比べ138億87百万円、15.1%増加しました。主な要因は、長期借入金の増加等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,767億45百万円であり、前連結会計年度末に比べ42億12百万円、1.5%増加しました。主な要因は、利益剰余金および、為替換算調整勘定の増加等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を2.1ポイント下回る53.8%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、現在のところ2023年10月31日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,118	54,866
受取手形、売掛金及び契約資産	185,423	196,173
有価証券	1,548	1,478
未成作業支出金	1,273	1,344
その他の棚卸資産	2,220	2,456
その他	9,266	13,903
貸倒引当金	△221	△241
流動資産合計	250,629	269,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,680	68,960
土地	58,337	58,237
その他（純額）	41,884	41,798
有形固定資産合計	166,901	168,996
無形固定資産		
のれん	204	55
その他	7,075	6,919
無形固定資産合計	7,280	6,974
投資その他の資産		
投資有価証券	27,014	31,896
その他	30,291	30,310
貸倒引当金	△454	△446
投資その他の資産合計	56,850	61,759
固定資産合計	231,032	237,731
資産合計	481,661	507,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,864	40,860
短期借入金	8,551	12,837
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
未払法人税等	9,573	2,322
契約負債	1,453	1,951
賞与引当金	10,951	7,516
その他	37,466	29,324
流動負債合計	116,861	124,812
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	25,675	37,885
退職給付に係る負債	30,892	31,149
その他	20,699	22,120
固定負債合計	92,267	106,154
負債合計	209,128	230,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,715	12,715
利益剰余金	221,027	230,120
自己株式	△9,124	△22,279
株主資本合計	253,238	249,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,500	11,852
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△46	△71
為替換算調整勘定	3,822	9,898
退職給付に係る調整累計額	2,771	2,490
その他の包括利益累計額合計	16,046	24,168
非支配株主持分	3,247	3,399
純資産合計	272,532	276,745
負債純資産合計	481,661	507,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	436,554	421,917
売上原価	388,205	375,437
売上総利益	48,349	46,479
販売費及び一般管理費	18,591	19,454
営業利益	29,757	27,024
営業外収益		
受取利息	335	526
受取配当金	882	915
為替差益	479	116
受取保険金	940	—
その他	930	828
営業外収益合計	3,568	2,386
営業外費用		
支払利息	417	579
その他	669	652
営業外費用合計	1,087	1,231
経常利益	32,239	28,180
特別損失		
減損損失	188	177
固定資産除却損	864	—
特別損失合計	1,052	177
税金等調整前四半期純利益	31,186	28,002
法人税等	10,762	9,291
四半期純利益	20,424	18,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	307	183
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,117	18,528

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	20,424	18,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	2,353
繰延ヘッジ損益	△40	0
為替換算調整勘定	9,357	6,326
退職給付に係る調整額	△286	△268
その他の包括利益合計	8,967	8,411
四半期包括利益	29,391	27,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,717	26,675
非支配株主に係る四半期包括利益	674	447

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、当社普通株式2,660,300株を13,149百万円にて取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は22,279百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	228,541	189,645	418,187	18,367	436,554	—	436,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,596	3,277	5,874	939	6,814	△6,814	—
計	231,138	192,923	424,062	19,306	443,368	△6,814	436,554
セグメント利益	8,373	19,903	28,276	1,324	29,600	157	29,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額157百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	214,290	187,514	401,804	20,112	421,917	—	421,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,354	2,807	5,161	1,255	6,417	△6,417	—
計	216,644	190,322	406,966	21,368	428,335	△6,417	421,917
セグメント利益	7,158	18,164	25,322	1,550	26,873	151	27,024

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額151百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。